授業中
記入用

授業観察用「新授業レリーフシート」

年　月　日	授業担当者名	科目名	学年、クラス（人数）	観察者名
平成 25 年 6 月 10 日	藤沢 太郎	生物基礎	2 学年 1 組（39 人）	神奈川花子

本時の評価規準 →	そのための学習指導の工夫
※評価規準に対応する学力の３要素の□を塗りつぶす。 （ ■知識・技能　□思考力・判断力・表現力等　□学習意欲 ） ・ワークシートに整理された細胞内の酵素を基に、酵素の基質特異性や多様性といった特徴を見いだし、自分なりの表現で記述している。	・既習知識を基に酵素の働く場所を考え、ワークシートに記録させる。 ・ジグソー学習を通して、理解を広げる。 （グループで共有・別のグループで共有） ・見いだした酵素の特徴を記述させる。

授業の流れ（教材、教師の指示、板書等）	生徒の学習活動、様子
8:51 本時の活動と既習事項の確認	生徒Ａに着目して観察　　WS：ワークシート
8:59 『細胞内で働く酵素を調べよう』 個人作業	・下向き、教「酵素」のページを熱心に読む …指示聞こえていない
9:08 ４人グループ、情報共有	・「何書けばよかったの？」…課題の理解× ・生徒Ｂに教えてもらう→ＷＳに書き始める ・教から『酵素』の語のあるページを探す ・「リソソームのところに細胞内消化と書いてある」 ・・・『酵素』の文字なし！ ・WSには書かず、教を熱心に探し続ける →「ATPの合成と分解」、「DNA合成酵素」 ・見付けたものを生徒Ｃに教える
9:14 グループ移動の指示 9:15 別のグループ、情報交換	・生徒ＢのＷＳを見て、写す ・「DNAポリメラーゼ」を教える ・「細胞骨格の合成」、「タンパク質合成（転写・翻訳）」を教わる→WSに記入
9:20 元のグループ、再確認 『酵素にはどのような特徴があるか』	・酵素名に着目 Ａ「名前にラーゼが付いている」 Ｂ「細胞骨格の合成の酵素名は？」 Ａ「何とか合成酵素、でいいんじゃない？」 ・「合成酵素や分解酵素以外には無いのかな？」→興味・関心 ・ＷＳの記述 酵素はさまざまな化学反応を起こす 名前に「ラーゼ」が付く　（後から） さまざまな細胞小器官で働く ← 友達の意見 ↓ 合成したり、分解したりいろいろな種類がある
9:38 各自で振り返り	・自由記述「酵素には種類がある。合成と分解以外の種類は無いのか気になる」

協議前記入用

	項　目（視　点）	授業後の振り返り
研究項目（観察の視点）	生徒に身に付けさせたい力が実現されたか。 また、生徒にそれが伝わっていたか。	○生徒Ａの自由記述に酵素の多様性の理解をうかがわせる記述あり、基質特異性に関する記述は無し ○酵素の種類（合成と分解以外）に興味・関心あり ○ジグソー学習…自他の班の意見交流できていた →ワークシートの記述の充実
	授業の基本的スキル（声や板書など）は発揮されていたか。	○生徒Ａは個人作業の活動を理解してなかった。指示の声が小さく聞こえていない!? →机間巡回でチェックが必要　課題や発問等を板書しておくことも効果的 ○ジグソー学習、班の組み換え指示は的確 （生徒は迷っていなかった）
	※各校独自項目 生徒の思考を促す工夫を取り入れた授業づくり	○細胞小器官の機能から、酵素の働きを想像していた →生徒の考えている様子が見られた ○ワークシートへの記述、友達のものを写す場面あり →「自分」と「友達」の考えを書き分けさせる等の工夫で、生徒の思考を評価精度アップ
その他、気付いたこと	○自分の授業よりも、生徒は活発に活動していた。 ○生徒はワークシートをすぐ無くす。ワークシートの管理については指導が必要。 ○ワークシートサイズ …Ａ４：字が小さく、グループで見合うのたいへん→Ａ３がよい	